

## 「生物多様性に関する世論調査」の概要

令和4年10月  
内閣府政府広報室

- 調査対象 全国18歳以上の日本国籍を有する者 3,000人  
有効回収数1,557人（有効回収率51.9%）  
（有効回収数の内訳：郵送1,009人、インターネット548人）
- 調査期間 令和4年7月21日～8月28日
- 調査方法 郵送法（配布：郵送、回収：郵送又はインターネット回答）
- 調査目的 生物多様性に関する国民の意識を把握し、今後の施策の参考とする。
- 調査項目
- 1 自然に対する関心・認識について
  - 2 生物多様性に対する認知度・関心について
  - 3 生物多様性保全のための取組について
- 調査実績 「環境問題に関する世論調査」  
（平成21年6月、平成24年6月、平成26年7月、令和元年8月）  
「自然の保護と利用に関する世論調査」  
（平成3年6月、平成8年11月、平成13年5月、平成18年6月）
- 関係府省庁 環境省
- その他
- 1 新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、調査員と調査対象の方との接触を回避するため、郵送法で実施した。
  - 2 令和元年8月調査までは調査員による個別面接聴取法で実施しているため、郵送法で実施した令和4年7月調査との単純比較は行わない。  
また、平成27年度までは、調査対象者の年齢が20歳以上であったが、平成28年度以降は18歳以上の方を調査対象に実施している。
  - 3 図表の数値(%)は、表章単位未満の位で四捨五入しているため、内訳の合計が100にならないこともある。

1 自然に対する関心・認識について

(1) 自然に対する関心度

問1. あなたは、自然について、どの程度関心がありますか。(〇は1つ)

令和4年7月

関心がある (小計)	75.3%
・非常に関心がある	18.2%
・ある程度関心がある	57.1%
関心がない (小計)	23.4%
・あまり関心がない	19.8%
・まったく関心がない	3.6%

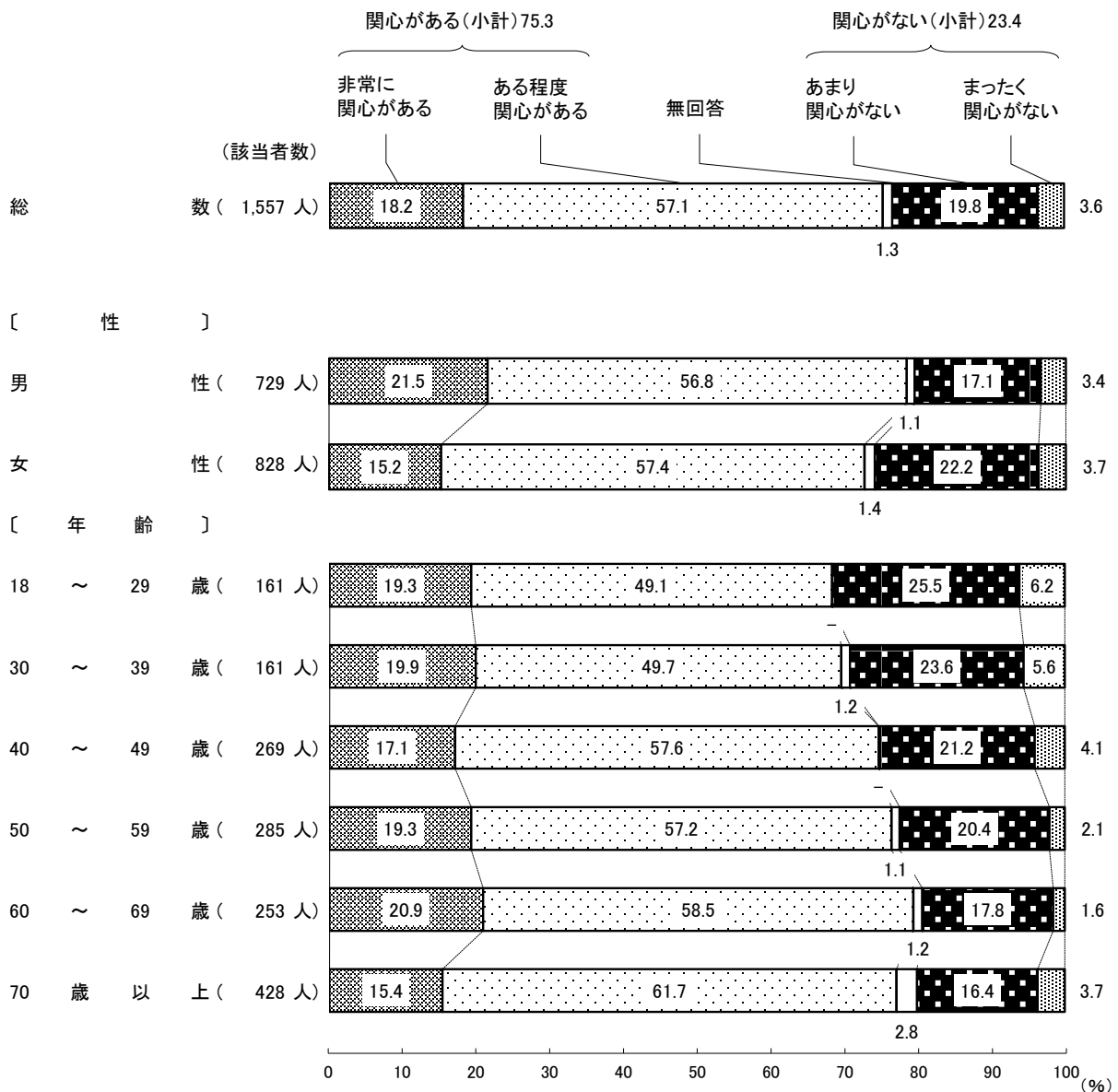


表1 自然に対する関心度

	該 当 者 数	関 心 が (小あ 計) る	関		関 心 が (小な 計) い	関		無 回 答
			非 常 に 関 心 が あ る	あ る 程 度 関 心 が あ る		あ ま り 関 心 が な い	ま っ た く 関 心 が な い	
	人	%	%	%	%	%	%	%
総 〔都 市 規 模〕	1,557	75.3	18.2	57.1	23.4	19.8	3.6	1.3
大 都 市	447	76.5	19.2	57.3	21.7	18.1	3.6	1.8
東 京 都 区 部	109	81.7	24.8	56.9	17.4	12.8	4.6	0.9
政 令 指 定 都 市	338	74.9	17.5	57.4	23.1	19.8	3.3	2.1
中 都 市	648	74.8	18.2	56.6	23.9	20.2	3.7	1.2
小 都 市	331	73.4	14.8	58.6	25.7	22.7	3.0	0.9
町 村	131	77.9	22.9	55.0	21.4	16.8	4.6	0.8
〔性〕								
男 性	729	78.3	21.5	56.8	20.6	17.1	3.4	1.1
女 性	828	72.6	15.2	57.4	26.0	22.2	3.7	1.4
〔年 齢〕								
18 ～ 29 歳	161	68.3	19.3	49.1	31.7	25.5	6.2	-
30 ～ 39 歳	161	69.6	19.9	49.7	29.2	23.6	5.6	1.2
40 ～ 49 歳	269	74.7	17.1	57.6	25.3	21.2	4.1	-
50 ～ 59 歳	285	76.5	19.3	57.2	22.5	20.4	2.1	1.1
60 ～ 69 歳	253	79.4	20.9	58.5	19.4	17.8	1.6	1.2
70 歳 以 上	428	77.1	15.4	61.7	20.1	16.4	3.7	2.8

表1-参考 自然に対する関心度

	該 当 者 数	関 心 が (小あ 計) る	関		関 心 が (小な 計) い	関		わ か ら な い
			非 常 に 関 心 が あ る	あ る 程 度 関 心 が あ る (注 1)		あ ま り 関 心 が な い (注 2)	ま っ た く 関 心 が な い (注 3)	
	人	%	%	%	%	%	%	%
平 成 3 年 6 月 調 査	2,253	84.5	28.2	56.2	14.3	12.6	1.7	1.2
平 成 8 年 11 月 調 査	3,493	83.4	27.9	55.5	15.5	13.0	2.6	1.1
平 成 13 年 5 月 調 査	2,072	81.9	27.6	54.3	17.5	15.7	1.8	0.5
平 成 18 年 6 月 調 査	1,834	85.7	26.7	58.9	14.0	12.8	1.2	0.4
平 成 21 年 6 月 調 査	1,919	91.7	35.2	56.5	8.0	7.2	0.8	0.3
平 成 24 年 6 月 調 査	1,912	90.4	29.5	60.9	8.8	8.0	0.8	0.8
平 成 26 年 7 月 調 査	1,834	89.1	21.9	67.2	10.5	9.4	1.1	0.4
令 和 元 年 8 月 調 査 (うち20歳以上)	1,624	90.9	29.5	61.4	9.0	8.4	0.6	0.1
令 和 元 年 8 月 調 査	1,667	90.6	29.2	61.4	9.3	8.6	0.7	0.1

(注1) 平成18年6月調査までは、「どちらかといえば関心がある」となっている。

(注2) 平成8年11月調査までは、「どちらかといえば関心がない」となっている。

(注3) 平成18年6月調査までは、「全然(全く)関心がない」となっている。

(注4) 令和元年8月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年7月調査との単純比較は行わない。

(2) 自然の働きに関する認識

問2. あなたは、私たちの生活にとって、どのような自然の働きが重要だと考えますか。  
(○はいくつでも)

(上位3項目)  
令和4年7月

- ・CO2 や大気汚染物質の吸収などの大気や気候を調整する働き 66.9%
- ・水資源の供給・水質浄化の働き 60.8%
- ・動物・植物など生物の生息・生育地としての働き 47.3%

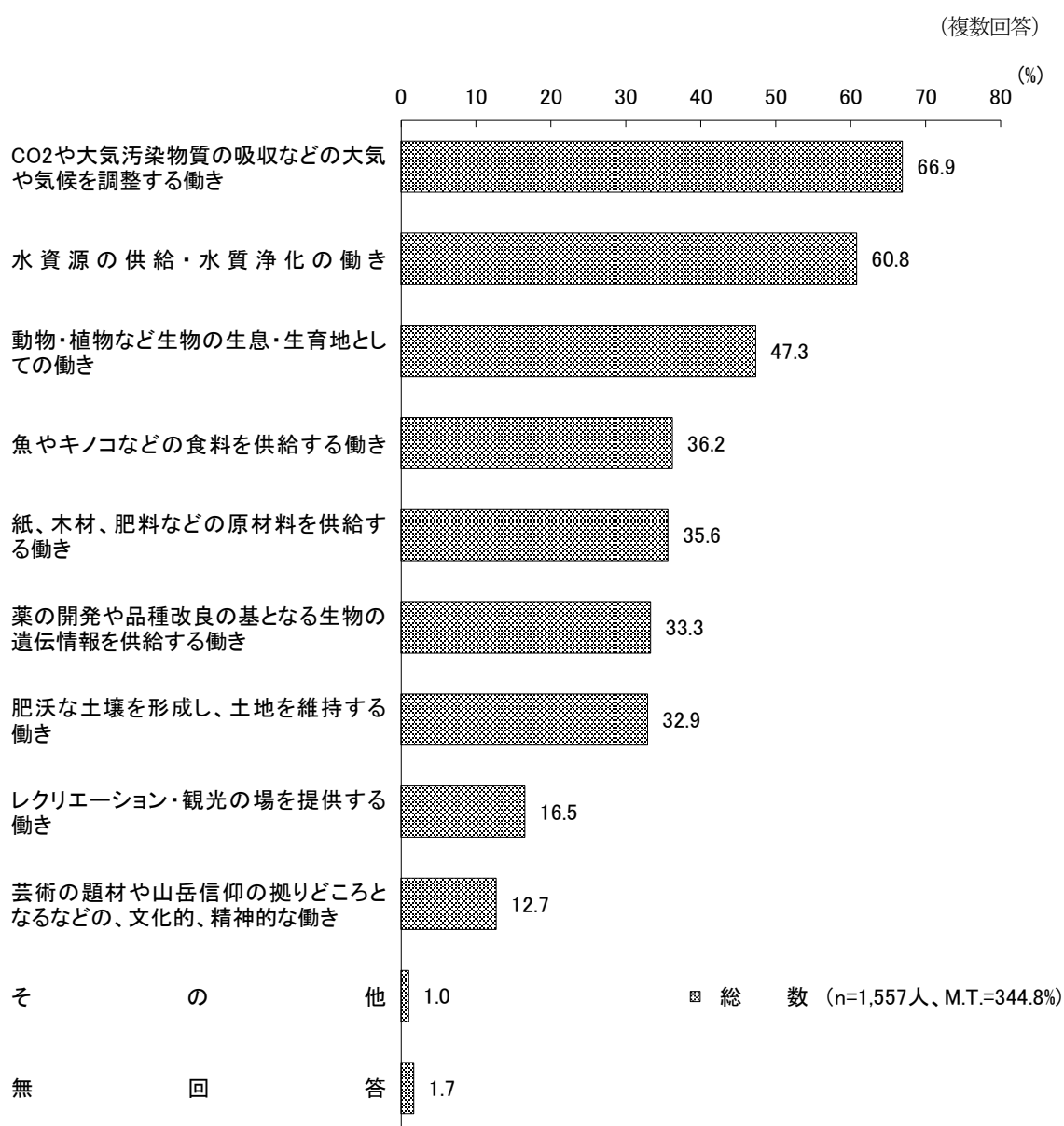


表2 自然の働きに関する認識

(複数回答)

	該 当 者 数	気や C02 や 大気 汚染 物質 の 吸収 など の 大	水 資源 の 供給 ・ 水 質 浄 化 の 働	動 物 ・ 植 物 な ど の 生 息 ・ 生 育 地 と し て の 働	魚 や キノ コ な ど の 食 料 を 供 給 す る 働	紙 や 木 材 、 肥 料 な ど の 原 材 料 を 供 給 す る 働	遺 伝 情 報 を 供 給 す る 働	薬 の 開 発 や 品 種 改 良 の 基 と な る 生 物 の 遺	肥 沃 な 土 壌 を 形 成 し 、 土 地 を 維 持 す る 働	レ ク リ エ ー シ ョ ン ・ 観 光 の 場 を 提 供 す る 働	芸 術 の 題 材 や 山 岳 信 仰 の 拠 り ど こ ろ と な る な ど の 、 文 化 的 、 精 神 的 な 働	そ の 他	無 回 答	計 ( M. T.)
		人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総 〔 都 市 規 模 〕	1,557	66.9	60.8	47.3	36.2	35.6	33.3	32.9	16.5	12.7	1.0	1.7	344.8	
大 都 市	447	69.4	62.4	49.7	35.3	39.1	36.5	32.2	18.3	13.9	0.9	1.3	359.1	
東 京 都 区 部	109	72.5	67.0	51.4	43.1	41.3	43.1	43.1	21.1	18.3	-	-	400.9	
政 令 指 定 都 市	338	68.3	60.9	49.1	32.8	38.5	34.3	28.7	17.5	12.4	1.2	1.8	345.6	
中 都 市	648	67.3	60.8	46.3	39.0	35.5	33.5	35.2	16.5	13.3	0.8	1.4	349.5	
小 都 市	331	64.4	57.1	45.3	33.8	35.6	32.3	28.7	15.7	9.1	0.6	3.3	326.0	
町 村	131	62.6	64.1	48.9	31.3	24.4	23.7	34.4	12.2	14.5	3.1	0.8	319.8	
〔 性 〕														
男 性	729	65.0	63.9	46.6	39.4	35.8	31.4	35.0	19.1	13.0	1.0	1.0	351.2	
女 性	828	68.5	58.0	47.8	33.5	35.5	34.9	31.0	14.3	12.3	1.0	2.4	339.1	
〔 年 齢 〕														
18 ～ 29 歳	161	68.3	51.6	50.9	47.2	46.0	33.5	27.3	22.4	18.6	-	0.6	366.5	
30 ～ 39 歳	161	66.5	62.7	56.5	43.5	44.1	32.3	34.8	18.6	10.6	1.2	0.6	371.4	
40 ～ 49 歳	269	73.2	65.8	56.1	37.2	40.5	34.6	38.7	16.7	12.3	1.1	-	376.2	
50 ～ 59 歳	285	70.5	59.3	47.0	35.8	31.6	34.4	33.0	17.9	15.1	0.7	-	345.3	
60 ～ 69 歳	253	70.0	64.8	49.4	31.6	32.4	32.8	30.0	13.0	14.2	0.4	1.2	339.9	
70 歳 以 上	428	58.2	58.9	35.7	31.8	30.1	32.2	32.2	14.5	8.9	1.6	5.1	309.3	

表2-参考 自然の働きに関する認識

(複数回答)

	該 当 者 数	気や C02 や 大気 汚染 物質 の 吸収 など の 大	水 資源 の 供給 ・ 水 質 浄 化 の 働	動 物 ・ 植 物 な ど の 生 息 ・ 生 育 地 と し て の 働	紙 、 木 材 、 肥 料 な ど の 原 材 料 を 供 給 す る 働	肥 沃 な 土 壌 を 形 成 し 、 維 持 す る 働	魚 や キノ コ な ど の 食 料 を 供 給 す る 働	伝 情 報 を 供 給 す る 働 ( 注 2)	薬 の 開 発 や 品 種 改 良 の 基 と な る 生 物 の 遺	レ ク リ エ ー シ ョ ン ・ 観 光 の 場 を 提 供 す る 働	芸 術 の 題 材 や 山 岳 信 仰 の 拠 り ど こ ろ と な る な ど の 、 文 化 的 、 精 神 的 な 働	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	計 ( M. T.)
		人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平 成 24 年 6 月 調 査	1,912	72.9	76.9	65.0	57.3	48.1	48.1	37.4	23.5	23.0	0.1	1.0	3.2	456.5	
平 成 26 年 7 月 調 査	1,834	74.9	67.1	56.0	43.3	38.4	40.0	31.2	19.2	20.6	-	1.3	4.1	396.1	
令 和 元 年 8 月 調 査 ( う ち 20 歳 以 上 )	1,624	71.4	63.1	55.0	46.6	36.9	35.0	30.0	18.9	17.3	0.1	2.6	3.1	379.9	
令 和 元 年 8 月 調 査	1,667	71.2	62.6	55.5	46.7	36.7	34.6	29.5	19.1	17.2	0.1	2.6	3.0	378.7	

(注1) 平成26年7月調査までは、「水資源の供給・水質浄化などの働き」となっている。  
(注2) 平成24年6月調査では、「薬の開発や品種改良の基となる遺伝子資源を供給する働き」となっている。  
平成26年7月調査では、「薬の開発や品種改良の基となる遺伝子資源を供給する働き」となっている。  
(注3) 平成26年7月調査までは、「あなたは、自然の働きについて、どのようなものが重要だと考えますか。  
この中からいくつでもあげてください。」と聞いている。  
(注4) 令和元年8月調査では、「あなたは、自然の働きについて、どのようなことが重要だと考えますか。  
この中からいくつでもあげてください。」と聞いている。  
(注5) 令和元年8月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年7月調査との単純比較は行わない。

## 2 生物多様性に対する認知度・関心について

### (1) 生物多様性の言葉の認知度

問3. 地球上には何百万種類もの生物が存在し、これらの生物が、例えば食べる・食べられるなど、お互いを利用し、支えあうといった繋がりの中で生きていることを「生物多様性」と呼びます。あなたは、この「生物多様性」の言葉の意味を知っていましたか。(○は1つ)

令和4年7月

- ・言葉の意味を知っていた 29.4%
- ・意味は知らないが、言葉は聞いたことがあった 43.2%
- ・聞いたこともなかった 26.5%

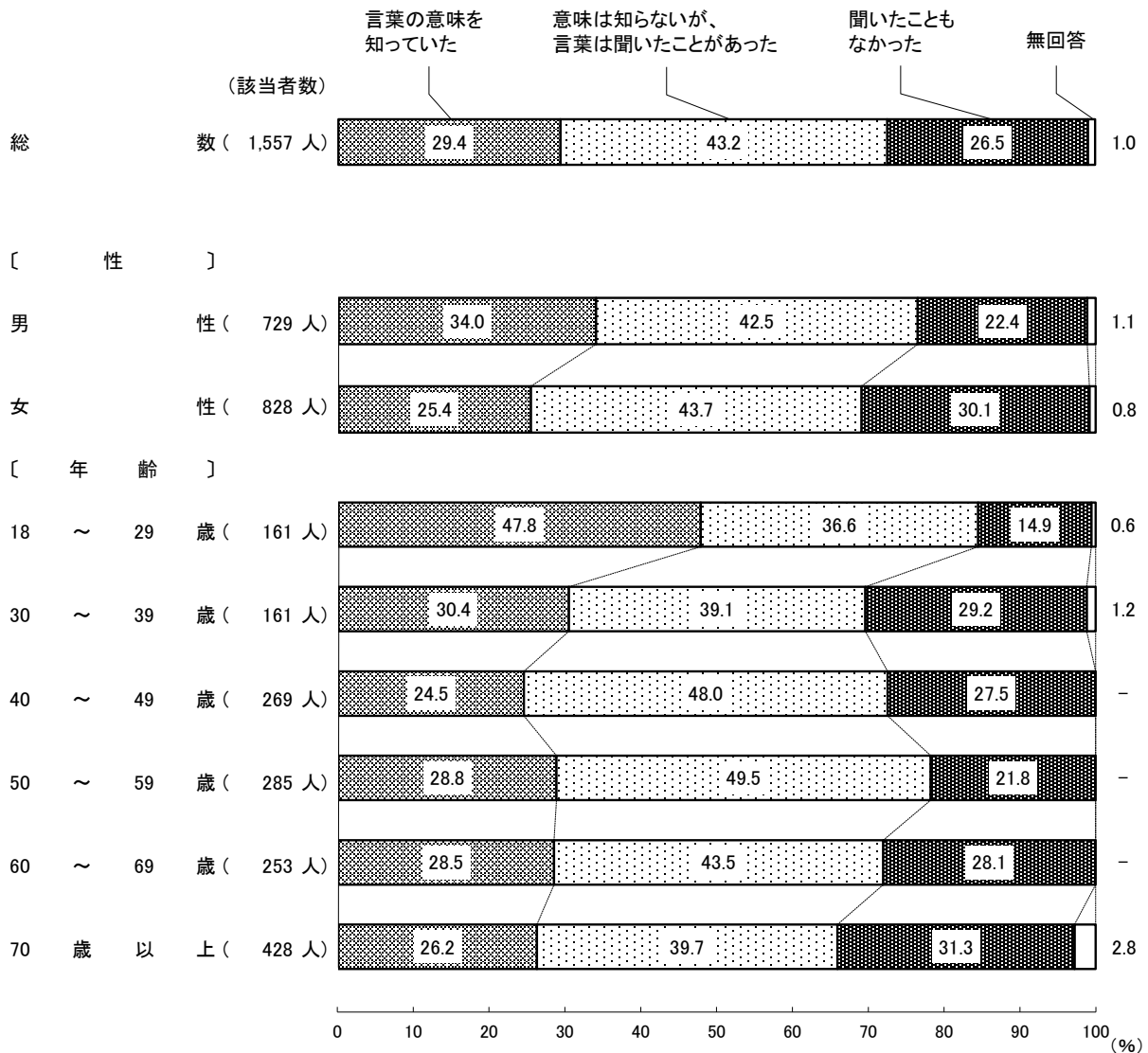


表3 生物多様性の言葉の認知度

	該 当 者 数	言葉 の 意 味 を 知 っ て い た	意 味 は 知 ら な い が、 言 葉 は 聞 い た こ と が あ っ た	聞 い た こ と も な か っ た	無 回 答
	人	%	%	%	%
総数	1,557	29.4	43.2	26.5	1.0
〔都市規模〕					
大都市	447	33.1	40.7	24.6	1.6
東京都区部	109	42.2	29.4	25.7	2.8
政令指定都市	338	30.2	44.4	24.3	1.2
中都市	648	30.1	42.6	26.2	1.1
小都市	331	24.5	46.2	29.0	0.3
町村	131	26.0	46.6	27.5	-
〔性〕					
男性	729	34.0	42.5	22.4	1.1
女性	828	25.4	43.7	30.1	0.8
〔年齢〕					
18～29歳	161	47.8	36.6	14.9	0.6
30～39歳	161	30.4	39.1	29.2	1.2
40～49歳	269	24.5	48.0	27.5	-
50～59歳	285	28.8	49.5	21.8	-
60～69歳	253	28.5	43.5	28.1	-
70歳以上	428	26.2	39.7	31.3	2.8

表3-参考 生物多様性の言葉の認知度

	該 当 者 数	言葉 の 意 味 を 知 っ て い た (注1)	意 味 は 知 ら な い が、 言 葉 は 聞 い た こ と が あ っ た (注2)	聞 い た こ と も な か っ た (注3)	わ か ら な い
	人	%	%	%	%
平成21年6月調査	1,919	12.8	23.6	61.5	2.1
平成24年6月調査	1,912	19.4	36.3	41.4	2.9
平成26年7月調査	1,834	16.7	29.7	52.4	1.3
令和元年8月調査 (うち20歳以上)	1,624	19.7	31.5	47.8	1.0
令和元年8月調査	1,667	20.1	31.7	47.2	1.0

- (注1) 平成26年7月調査までは、「言葉の意味を知っている」となっている。
- (注2) 平成26年7月調査までは、「意味は知らないが、言葉は聞いたことがある」となっている。
- (注3) 平成26年7月調査までは、「聞いたこともない」となっている。
- (注4) 平成26年7月調査までは、「あなたは、「生物多様性」の言葉の意味を知っていますか。この中から1つだけお答えください。」と聞いている。
- (注5) 令和元年8月調査では、「あなたは、「生物多様性」の言葉の意味を知っていましたか。この中から1つだけお答えください。」と聞いている。
- (注6) 令和元年8月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年7月調査との単純比較は行わない。

(2) 生物多様性の危機要因への関心事項

問4. 生物多様性は、食料や木材、薬など、私たちの生活に欠かすことのできない様々な恵みをもたらしていますが、今、人間の活動などの影響によって危機に直面しています。あなたは、生物多様性の危機を招く要因について、どのようなことに関心がありますか。  
(〇はいくつでも)

(上位6項目)  
令和4年7月

- ・地球温暖化・気候変動による生物の生息・生育地の減少や消失 73.2%
- ・開発による野生生物の生息・生育地の破壊 60.8%
- ・その土地に生息・生育していた生物が、本来その土地にいなかったが人間の活動によって持ち込まれた生物に食べられたり、生息・生育地を奪われたりすることにより減少すること 49.1%
- ・野外に放出された化学物質や廃棄物などによる野生生物への悪影響 45.8%
- ・里山など、人との関わりによって成り立っていた身近な自然の放棄による荒廃 41.7%
- ・行き過ぎた捕獲や採取による野生生物の減少 41.6%

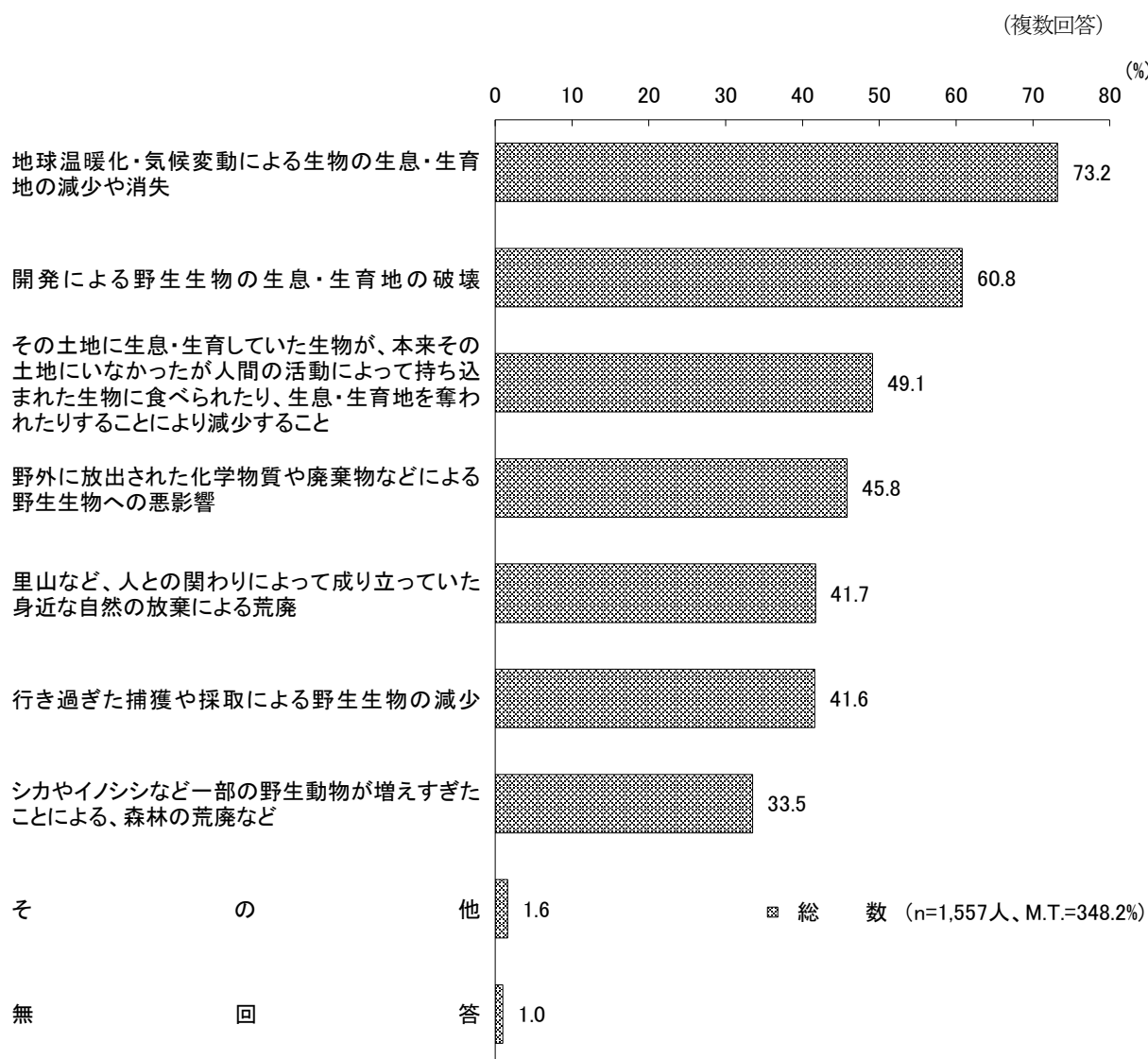




表4 生物多様性の危機要因への関心事項

(複数回答)

	該 当 者 数	の地球温暖化・気候変動による生物の生息・生育地の減少や消失	開発による野生生物の生息・生育地の破壊	土地に生息・生育していた生物が、本来その土地にいなかったが人間の活動によって持ち込まれた生物に食べられたり、生息・生育地を奪われたりすることにより減少すること	野外に放出された化学物質や廃棄物などによる野生生物への悪影響	里山など、人との関わりによって成り立っていた身近な自然の放棄による荒廃	行き過ぎた捕獲や採取による野生生物の減少	シカやイノシシなど一部の野生動物が増えすぎたことによる、森林の荒廃など	その他	無 回 答	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総数 〔都市規模〕	1,557	73.2	60.8	49.1	45.8	41.7	41.6	33.5	1.6	1.0	348.2
大都市	447	76.7	65.8	51.0	52.6	43.6	48.3	32.9	1.1	0.9	372.9
東京都区部	109	77.1	69.7	52.3	58.7	46.8	56.0	29.4	1.8	0.9	392.7
政令指定都市	338	76.6	64.5	50.6	50.6	42.6	45.9	34.0	0.9	0.9	366.6
中都市	648	72.2	57.4	49.8	42.3	38.4	38.0	31.3	1.9	1.2	332.6
小都市	331	71.3	60.4	45.9	43.5	42.0	41.4	34.7	0.9	0.9	341.1
町	131	71.0	61.1	47.3	45.8	50.4	36.6	42.7	3.8	-	358.8
〔性〕											
男性	729	69.3	63.9	47.3	44.0	42.8	43.1	36.8	1.5	0.8	349.5
女性	828	76.7	58.0	50.7	47.3	40.7	40.2	30.6	1.7	1.1	347.0
〔年齢〕											
18～29歳	161	67.1	64.0	43.5	42.9	24.8	47.8	23.0	-	1.2	314.3
30～39歳	161	70.2	61.5	52.2	49.1	29.2	54.7	28.0	3.7	0.6	349.1
40～49歳	269	74.3	61.0	53.9	56.9	29.7	50.2	30.1	2.2	0.4	358.7
50～59歳	285	77.5	60.4	51.6	44.9	40.0	39.3	30.5	2.1	0.4	346.7
60～69歳	253	77.5	68.0	56.1	41.9	53.4	42.3	28.9	0.8	-	368.8
70歳以上	428	70.6	55.1	41.4	41.6	54.4	29.9	46.3	1.2	2.3	342.8

表4-参考 生物多様性の危機要因への関心事項

(複数回答)

	該 当 者 数	地球温暖化・気候変動による生物に適した生息・生育地の減少や消失	開発による野生生物の生息・生育地の破壊	外来生物によって食べられたり、生息・生育地を奪われたりすることによる在来生物の減少	野外に放出された化学物質や廃棄物などによる野生生物への悪影響	行き過ぎた捕獲や採取による野生生物の減少	シカやイノシシなど一部の野生動物が増えすぎたことによる、森林の荒廃など	里山など、人との関わりによって成り立っていた身近な自然の放棄による荒廃	その他	関 心 は な い	わ か ら な い	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
令和元年8月調査	1,667	62.4	58.2	50.6	47.4	44.5	43.9	43.5	0.2	5.1	3.2	358.9

(注1) 「生物多様性は人間に様々な恵みをもたらす一方で人間の活動などの影響によって、危機に直面しています。あなたは、生物多様性の危機を招く要因について、どのようなことに関心がありますか。この中からいくつかでもあげてください。」と聞いている。

(注2) 令和元年8月調査では、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年7月調査との単純比較は行わない。

### 3 生物多様性保全のための取組について

#### (1) 生物多様性保全活動への取組状況

問5. あなたは、生物多様性の保全に貢献する行動として、次にあげる行動の中で既に取り組んでいることはありますか。(〇はいくつでも)

(上位2項目)

令和4年7月

- ・生産や流通で使用するエネルギーを抑えるため、地元で採れた旬の食材を味わう 33.7%
- ・エコラベルなどが付いた環境に優しい商品を選んで買う 26.8%
  
- ・取り組みたい行動はあるが、行動に移せてはいない 33.7%

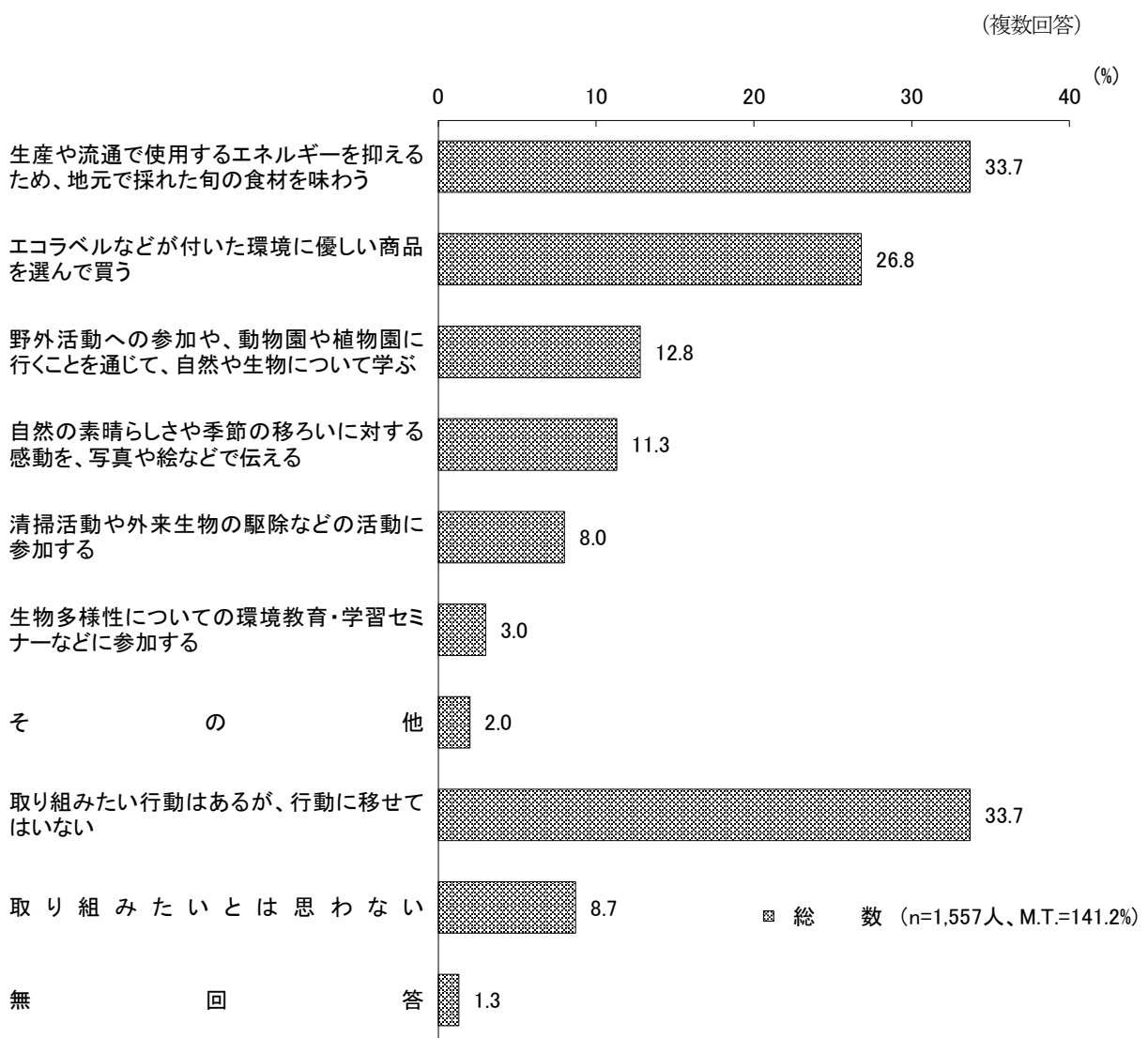


表5 生物多様性保全活動への取組状況

(複数回答)

	該 当 者 数	食 材 を 味 わ う	生 産 や 流 通 で 使 用 す る エ ネ ル ギ ー を 抑 え る た め 、 地 元 で 採 れ た 旬 の	し い 商 品 を 選 ん で 買 う	エ コ ラ ベ ル な ど が 付 い た 環 境 に 優 しい	生 物 園 に 行 く こ と を 通 じ て 、 自 然 や 植 物 園 に 関 心 を も つ て 学 ぶ	野 外 活 動 へ の 参 加 や 、 動 物 園 や 植 物 園 に 関 心 を も つ て 学 ぶ	自 然 の 素 晴 ら し さ や 季 節 の 移 ろ い に 対 す る 感 動 を 、 写 真 や 絵 な ど で 伝 え る	清 掃 活 動 や 外 来 生 物 の 駆 除 な ど の 活 動 に 参 加 す る	学 習 セ ミ ナ ー な ど に 参 加 す る	生 物 多 様 性 に 関 心 を も つ て の 環 境 教 育 ・ 学 習 セ ミ ナ ー な ど に 参 加 す る	そ の 他	取 り 組 み た い い 行 動 は あ る が 、 行 動 に 移 せ て は い な い	取 り 組 み た い い と は 思 わ な い	無 回 答	計 (M.T.)	
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総数	1,557	33.7	26.8	12.8	11.3	8.0	3.0	2.0	33.7	8.7	1.3	141.2					
〔都市規模〕																	
大都市	447	24.6	28.0	12.1	11.6	7.4	2.7	2.2	36.5	8.7	1.3	135.1					
東京都	109	21.1	38.5	14.7	4.6	4.6	3.7	5.5	34.9	9.2	-	136.7					
政令指定都市	338	25.7	24.6	11.2	13.9	8.3	2.4	1.2	37.0	8.6	1.8	134.6					
中都市	648	36.1	27.5	13.9	11.9	6.8	2.6	1.9	33.0	9.4	1.2	144.3					
小都市	331	36.0	26.0	13.3	9.1	10.3	3.6	1.5	34.7	6.6	1.2	142.3					
町	131	46.6	21.4	9.2	13.0	10.7	3.8	3.1	25.2	9.9	1.5	144.3					
〔性〕																	
男女	729	27.8	21.1	12.9	12.2	10.2	4.3	2.5	36.4	9.5	1.2	138.0					
女性	828	38.8	31.8	12.8	10.5	6.2	1.8	1.6	31.4	8.0	1.3	144.1					
〔年齢〕																	
18～29歳	161	26.1	30.4	16.8	14.9	5.0	4.3	0.6	31.1	10.6	1.2	141.0					
30～39歳	161	30.4	32.9	26.7	13.7	4.3	2.5	1.9	29.8	11.2	-	153.4					
40～49歳	269	35.3	31.6	16.0	10.4	4.8	3.7	2.6	32.3	6.3	-	143.1					
50～59歳	285	36.5	28.4	11.2	10.5	7.0	2.1	1.8	35.4	5.6	-	138.6					
60～69歳	253	37.2	26.1	9.5	13.0	12.3	2.0	2.0	34.0	6.3	0.8	143.1					
70歳以上	428	32.7	19.4	7.2	9.1	10.7	3.3	2.3	35.7	11.9	3.7	136.2					

表5-参考 生物多様性保全のための取組

(複数回答)

	該 当 者 数	生 産 や 流 通 で 使 用 す る エ ネ ル ギ ー を 抑 え る た め 、 地 元 で 採 れ た 旬 の 食 材 を 味 わ う	エ コ ラ ベ ル な ど が 付 い た 環 境 に 優 しい 商 品 を 選 ん で 買 う	自 然 や 生 物 園 に 関 心 を も つ て 学 ぶ た め 、 自 然 の 体 験 、 動 物 園 や 植 物 園 に 関 心 を も つ て 学 ぶ	自 然 の 素 晴 ら し さ や 季 節 の 移 ろ い に 対 す る 感 動 を 伝 え る	写 真 や 絵 な ど で 感 動 を 伝 え る	生 物 や 自 然 、 人 や 文 化 と の 「 つ な が り 」 を 守 る た め 、 地 域 や 全 国 の 外 来 生 物 の 駆 除 な ど の 活 動 に 参 加 す る	取 り 組 み た い い と 思 う こ と は な い	特 に な い	わ か ら な い	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
令和元年8月調査	1,667	51.7	50.8	25.0	20.8	17.8	8.2	4.9	3.2	182.2	

(注1) 「環境省では、国民が取り組める生物多様性の保全に貢献する行動を次のとおり5つにまとめ、できる行動を皆様に宣言していただくよう呼びかけています。あなたは、この5つの行動の中で既に取り組んでいる、または取り組んでみたいと思うことはありますか。この中からいくつでもお答えください。」と聞いている。

(注2) 令和元年8月調査では、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年7月調査との単純比較は行わない。

(2) 生物多様性保全活動を制限する要因

問6. あなたの、生物多様性の保全に貢献する行動を制限することは何ですか。生物多様性の保全に貢献する行動に取り組んでいる場合でも、行動の支障になると感じていることを、お答えください。(〇はいくつでも)

(上位3項目)  
令和4年7月

- ・ 体力や時間がないこと 51.2%
- ・ 何をしたらよいのか、よくわからないこと 50.7%
- ・ 費用がかかること 26.3%

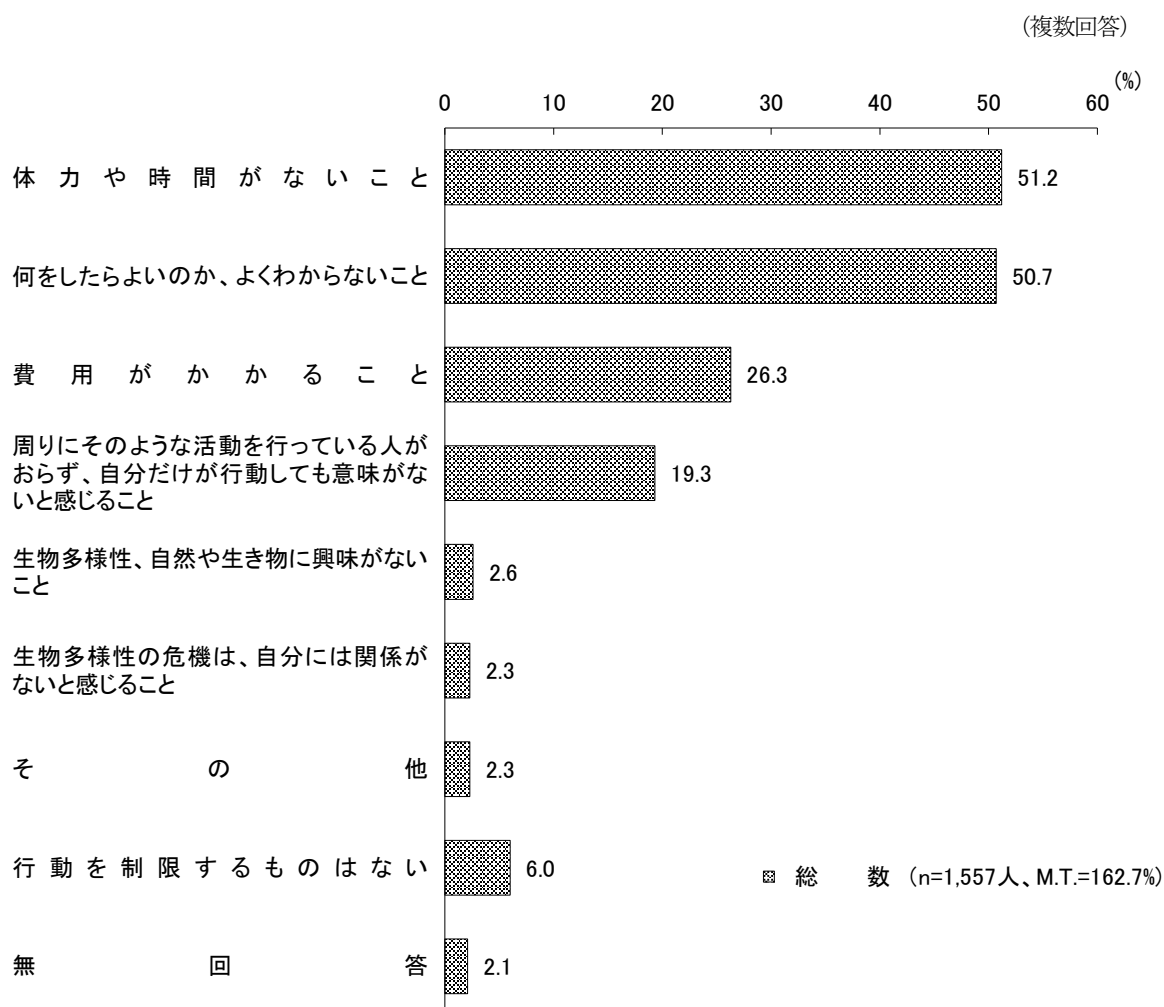


表6 生物多様性保全活動を制限する要因

(複数回答)

	該 当 者 数	体 力 や 時 間 が な い こ と	何 を し た ら よ い の か 、 よ く わ か ら な い こ と	費 用 が か か る こ と	周 り に そ の よ う な 活 動 を 行 っ て い る 人 が お ら ず 、 自 分 だ け が 行 動 し て い る 意 味 が な い と 感 じ る こ と	生 物 多 様 性 、 自 然 や 生 き 物 に 興 味 が な い こ と	生 物 多 様 性 の 危 機 は 、 自 分 に は 関 係 が な い と 感 じ る こ と	そ の 他	行 動 を 制 限 す る も の は な い	無 回 答	計 ( M. T. )
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総 〔 都 市 規 模 〕 大 都 市	1,557	51.2	50.7	26.3	19.3	2.6	2.3	2.3	6.0	2.1	162.7
東 京 都 区 部	447	53.9	55.0	31.5	17.7	2.7	3.4	2.2	4.9	1.1	172.5
政 令 指 定 都 市	109	57.8	50.5	32.1	19.3	3.7	6.4	2.8	5.5	0.9	178.9
中 都 市	338	52.7	56.5	31.4	17.2	2.4	2.4	2.1	4.7	1.2	170.4
小 都 市	648	50.3	51.1	24.2	18.4	2.3	2.3	1.7	6.2	1.9	158.3
町 村	331	53.2	46.2	24.5	20.8	3.0	1.8	3.0	6.0	3.6	162.2
〔 性 〕	131	41.2	45.0	22.9	25.2	2.3	-	3.8	9.2	3.1	152.7
男 女	729	51.6	48.1	28.7	23.0	2.6	3.0	2.3	6.2	1.5	167.1
〔 年 齢 〕	828	50.8	52.9	24.2	15.9	2.5	1.7	2.3	5.9	2.7	158.9
18 ～ 29 歳	161	46.0	46.0	41.6	21.1	9.9	5.6	-	4.3	1.2	175.8
30 ～ 39 歳	161	49.1	59.6	35.4	21.1	4.3	6.2	2.5	7.5	0.6	186.3
40 ～ 49 歳	269	52.8	56.1	37.9	16.0	1.1	1.9	1.9	5.9	0.4	174.0
50 ～ 59 歳	285	53.0	53.3	28.4	15.8	2.8	1.8	2.8	3.2	0.4	161.4
60 ～ 69 歳	253	46.6	56.1	19.8	22.1	1.2	1.2	1.6	8.7	1.6	158.9
70 歳 以 上	428	54.4	40.7	12.1	20.6	0.7	0.9	3.5	6.5	5.6	145.1

(3) 2030年までに陸と海の30%保全・保護への取組意識

問7. 2021年6月に日本も参加した主要7か国首脳会議で、生物多様性の損失を食い止め、2030年までに世界の陸と海の30%を保全・保護することが約束されました。自然や生物を守るために、あなたはどのような取り組みで貢献したいと思いますか。(〇はいくつでも)

(上位3項目)  
令和4年7月

- ・ 保全・保護活動を実施しているエリアで収穫された農作物などを購入したい 48.0%
- ・ 保全・保護に熱心な企業の製品やサービスを積極的に購入・利用したい 47.2%
- ・ ふるさと納税で貢献したい 20.7%
  
- ・ 特に貢献したいと思わない 12.3%

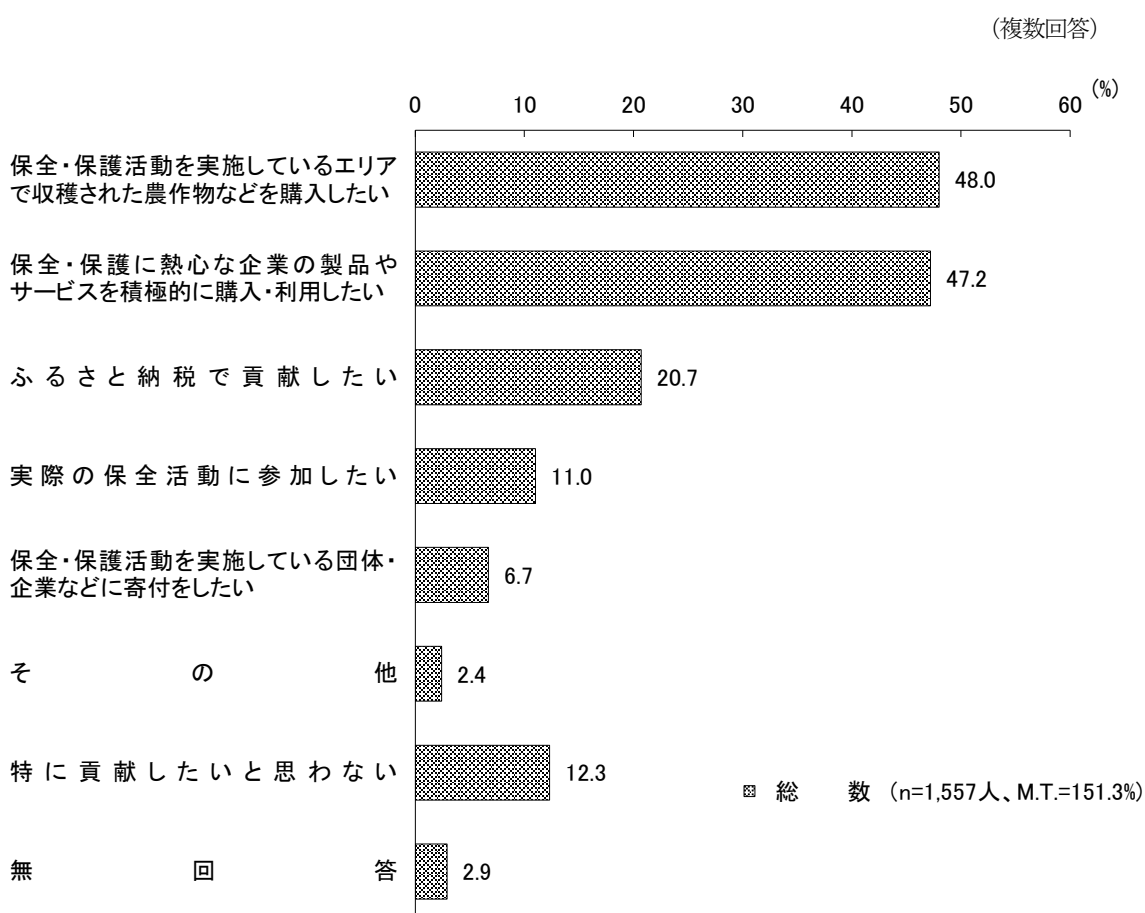


表7 2030年までに陸と海の30%保全・保護への取組意識

(複数回答)

	該 当 者 数	保 全 ・ 保 護 活 動 を 実 施 し て い る 農 作 物 な ど を 購 入 し た い	保 全 ・ 保 護 に 熱 心 な 企 業 の 製 品 を 購 入 し た い	ふ る さ と 納 税 で 貢 献 し た い	実 際 の 保 全 活 動 に 参 加 し た い	保 全 ・ 保 護 活 動 を 実 施 し て い る 団 体 ・ 企 業 な ど に 寄 付 を し た い	そ の 他	特 に 貢 献 し た い と 思 わ な い	無 回 答	計 (M. T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総 〔都市規模〕 数	1,557	48.0	47.2	20.7	11.0	6.7	2.4	12.3	2.9	151.3
大 都 市	447	47.0	48.1	24.8	11.6	8.5	2.5	12.1	2.2	156.8
東 京 都 区 部	109	53.2	57.8	27.5	10.1	6.4	0.9	9.2	2.8	167.9
政 令 指 定 都 市	338	45.0	45.0	24.0	12.1	9.2	3.0	13.0	2.1	153.3
中 都 市	648	46.9	49.1	20.8	11.3	4.9	1.9	13.0	2.2	150.0
小 都 市	331	50.2	43.5	16.0	9.4	8.8	2.1	13.0	3.6	146.5
町 村	131	51.1	44.3	18.3	12.2	3.8	5.3	8.4	6.9	150.4
〔性〕										
男 性	729	44.3	45.1	20.9	13.7	8.5	2.3	12.9	2.9	150.6
女 性	828	51.2	49.0	20.7	8.7	5.1	2.4	11.8	2.9	151.8
〔年齢〕										
18 ～ 29 歳	161	34.8	41.6	42.9	8.7	9.9	0.6	11.2	1.2	150.9
30 ～ 39 歳	161	42.9	51.6	29.2	14.9	11.2	3.7	14.9	0.6	168.9
40 ～ 49 歳	269	51.3	49.1	21.2	16.0	6.3	1.1	11.9	0.4	157.2
50 ～ 59 歳	285	48.8	55.4	21.1	8.4	5.6	3.9	9.8	0.7	153.7
60 ～ 69 歳	253	53.8	50.6	17.0	10.3	3.6	2.0	10.7	1.2	149.0
70 歳 以 上	428	48.8	39.0	11.0	9.6	6.5	2.6	14.7	8.4	140.7

# 生物多様性に関する世論調査

令和4年7月

(n=1,557 (郵送：n=1,009、インターネット：n=548))

ここからは、生物多様性についておうかがいします

問1. あなたは、自然について、どの程度関心がありますか。(○は1つ)

- (18.2) 1. 非常に関心がある
- (57.1) 2. ある程度関心がある
- (19.8) 3. あまり関心がない
- (3.6) 4. まったく関心がない
- (1.3) 無回答

問2. あなたは、私たちの生活にとって、どのような自然の働きが重要だと考えますか。(○はいくつでも)

- (36.2) 1. 魚やキノコなどの食料を供給する働き
- (35.6) 2. 紙、木材、肥料などの原材料を供給する働き
- (33.3) 3. 薬の開発や品種改良の基となる生物の遺伝情報を供給する働き
- (66.9) 4. CO2や大気汚染物質の吸収などの大気や気候を調整する働き
- (60.8) 5. 水資源の供給・水質浄化の働きひよく
- (32.9) 6. 肥沃な土壌を形成し、土地を維持する働き
- (47.3) 7. 動物・植物など生物の生息・生育地としての働き
- (16.5) 8. レクリエーション・観光の場を提供する働き
- (12.7) 9. 芸術の題材や山岳信仰の拠りどころとなるなどの、文化的、精神的な働き
- (1.0) 10. その他 (具体的に→) \_\_\_\_\_
- (1.7) 無回答 (M. T. =344.8)

問3. 地球上には何百万種類もの生物が存在し、これらの生物が、例えば食べる・食べられるなど、お互いを利用し、支えあうといった繋がりの中で生きていることを「生物多様性」と呼びます。あなたは、この「生物多様性」の言葉の意味を知っていましたか。(○は1つ)

- (29.4) 1. 言葉の意味を知っていた
- (43.2) 2. 意味は知らないが、言葉は聞いたことがあった
- (26.5) 3. 聞いたこともなかった
- (1.0) 無回答

問4. 生物多様性は、食料や木材、薬など、私たちの生活に欠かすことのできない様々な恵みをもたらしていますが、今、人間の活動などの影響によって危機に直面しています。あなたは、生物多様性の危機を招く要因について、どのようなことに関心がありますか。(○はいくつでも)

- (60.8) 1. 開発による野生生物の生息・生育地の破壊
- (41.6) 2. 行き過ぎた捕獲や採取による野生生物の減少
- (41.7) 3. 里山など、人との関わりによって成り立っていた身近な自然の放棄による荒廃
- (33.5) 4. シカやイノシシなど一部の野生動物が増えすぎたことによる、森林の荒廃など
- (49.1) 5. その土地に生息・生育していた生物が、本来その土地にいなかったが人間の活動によって持ち込まれた生物に食べられたり、生息・生育地を奪われたりすることにより減少すること
- (45.8) 6. 野外に放出された化学物質や廃棄物などによる野生生物への悪影響
- (73.2) 7. 地球温暖化・気候変動による生物の生息・生育地の減少や消失
- (1.6) 8. その他 (具体的に→) \_\_\_\_\_
- (1.0) 無回答 (M. T. =348.2)

次のページの問5に進んでください



問 5. あなたは、生物多様性の保全に貢献する行動として、次あげる行動の中で既に取り組んでいることはありますか。(〇はいくつでも)

- (33.7) 1. 生産や流通で使用するエネルギーを抑えるため、地元で採れた旬の食材を味わう
- (12.8) 2. 野外活動への参加や、動物園や植物園に行くことを通じて、自然や生物について学ぶ
- (11.3) 3. 自然の素晴らしさや季節の移ろいに対する感動を、写真や絵などで伝える
- (8.0) 4. 清掃活動や外来生物の駆除などの活動に参加する
- (26.8) 5. エコラベルなどが付いた環境に優しい商品を選んで買う
- (3.0) 6. 生物多様性についての環境教育・学習セミナーなどに参加する
- (2.0) 7. その他 (具体的に→) \_\_\_\_\_
- (33.7) 8. 取り組みたい行動はあるが、行動に移せてはいない
- (8.7) 9. 取り組みたいとは思わない
- (1.3) 無回答 (M. T. =141.2)

問 6. あなたの、生物多様性の保全に貢献する行動を制限することは何ですか。生物多様性の保全に貢献する行動に取り組んでいる場合でも、行動の支障になると感じていることを、お答えください。(〇はいくつでも)

- (51.2) 1. 体力や時間がないこと
- (26.3) 2. 費用がかかること
- (19.3) 3. 周りにそのような活動を行っている人がおらず、自分だけが行動しても意味がないと感じること
- (50.7) 4. 何をしたらよいのか、よくわからないこと
- (2.6) 5. 生物多様性、自然や生き物に興味がないこと
- (2.3) 6. 生物多様性の危機は、自分には関係がないと感じること
- (2.3) 7. その他 (具体的に→) \_\_\_\_\_
- (6.0) 8. 行動を制限するものはない
- (2.1) 無回答 (M. T. =162.7)

問 7. 2021 年 6 月に日本も参加した主要 7 国首脳会議で、生物多様性の損失を食い止め、2030 年までに世界の陸と海の 30%を保全・保護することが約束されました。自然や生物を守るために、あなたはどのような取り組みで貢献したいと思いますか。(〇はいくつでも)

- (6.7) 1. 保全・保護活動を実施している団体・企業などに寄付をしたい
- (20.7) 2. ふるさと納税で貢献したい
- (11.0) 3. 実際の保全活動に参加したい
- (48.0) 4. 保全・保護活動を実施しているエリアで収穫された農作物などを購入したい
- (47.2) 5. 保全・保護に熱心な企業の製品やサービスを積極的に購入・利用したい
- (2.4) 6. その他 (具体的に→) \_\_\_\_\_
- (12.3) 7. 特に貢献したいと思わない
- (2.9) 無回答 (M. T. =151.3)